

平成27年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ(西地区)	所管課	子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人ふじみ野市学童保育の会	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成27年4月1日 ～ 平成31年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成23年4月1日	指定回数	2回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る		
施設概要	大井放課後児童クラブ(定員70名、延床面積282.78㎡)、鶴ヶ丘放課後児童クラブ(定員60名、延床面積138.44㎡)、第2鶴ヶ丘放課後児童クラブ(定員60名、延床面積164.37㎡)、東原放課後児童クラブ(定員87名、延床面積190.03㎡)、西原放課後児童クラブ(定員40名、延床面積96.05㎡)、亀久保放課後児童クラブ(定員70名、延床面積142.63㎡)、三角放課後児童クラブ(定員42名、延床面積93.57㎡)、東台放課後児童クラブ(定員66名、延床面積165.62㎡)		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

【評価項目】

【評価基準】 5: 目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4: 目標値以上の結果(5以外) / 3: 目標値に達している場合 / 2: 目標値をやや下回る場合 / 目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか	評価
特記事項 (問題等があった場合)	3

2 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	平均登録児童数	503	人	469	人	
(特記事項)						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由		
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営に関すること 施設及び設備の維持管理に関すること 個人情報保護、守秘義務及び本業務に関する情報の公開に関すること 意見・要望への対応 運営改善の取組に関すること 児童の保育及び健全育成に関すること その他指定管理に関する業務 		基本協定、業務仕様書、特記仕様書の内容にしたがい、大きな事故もなく業務が実施された。		
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 長期休み(夏休み・冬休み・春休み)の一時保育 延長保育 昼のお弁当注文サービス 		左記について、自主事業協議書のとおり問題なく実施された。			
サービス向上の取組	平成27年度は、保育技術や地域交流、障がい児対応、危機管理、個人情報保護の観点から内部4回、外部24回の研修を実施し、のべ359人の研修参加実績があった。このことにより、サービスの総合的な向上を図っている。					

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	4
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】平成27年12月16日～12月26日 【調査方法】利用保護者に対し、アンケートを実施。 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④支援員等と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧行事⑨遊具・施設⑩おやつ提供⑪利用時間⑫保護者懇談会実施方法⑬総合印象	
	(3) 調査、会議等の結果 回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査を行った結果、「満足」～「ふつう」は各項目で84.7%以上であった。 ⑬総合印象は、「満足」「やや満足」と78.9%が回答し、全体として高評価となった。(満足45.7%、やや満足33.2%、ふつう16.8%、やや不満足0%、不満足0%、未回答4.3%)	
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・子どもが児童クラブに通い、友達と遊ぶことを楽しみにしており、先生のことも信頼しているので、安心している。 ・おたよりや連絡帳で写真や親しみやすい文章でこまめに伝えてくれるのでありがたい。 ・子どもたちは支援員の方々へ大きな信頼を持っている。・若いので子どもたちと打ち解けていて安心できる。 ・お菓子以外に豚汁などもある点が家庭的で、子どもも毎日満足しているようだ。 ・保護者会は回数が多いように感じるが、仕事をしながら子育てする身として、不安を理解し合える関係を築ける。 ・マジックショーなど地域の方に来ていただいているのも良いと思う。	4
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・施設の老朽化が目立つ、また、人数が多いので、少し部屋が小さい気がしている。 ・古い施設では、未だに男女共用トイレであったり、和式便器であったりするところがある。 ・休み中の保育時間が8時からだと仕事に遅れる場合があるため、少し早めてほしい。 ・熱心に見てもらえる反面、支援員さんが子どもにイライラしていて怖い時がある。 ・お菓子(スナック)よりおにぎりやすめなど、糖分が少ないものの方が良い。 《対応措置》 ・男女共用トイレの問題に関しては、なかなか解消できずに利用者にも懸念がある、カーテンで仕切りをつける・こまめに掃除をし、また清掃業者に依頼するなど、工夫をしている。 ・子ども同士の関係については、特に異学年交流において多くのクラブで問題となることがあり、子どもたち自身での解消を目指しつつも、問題があった児童間での出来事には注視するよう努めている。 ・おやつについては、他のクラブのメニューの良い点を参考にするなどしているが、児童の持つアレルギーの種類も様々であり、実現できないこともある。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成27年度)				市の収支				評価		
	項目	金額	収支実績額		項目	金額	平成26年度決算(前年度)				
			項目	金額			項目	金額			
収入	利用料金		利用料金		歳入	施設使用料	41,170,500	施設使用料	37,340,262		
	指定管理料	119,709,000	指定管理料	126,474,951		行政財産使用料	1,300	行政財産使用料	3,600		
	自主事業※		自主事業※			国庫支出金	25,514,000	国庫支出金			
	その他収入	4,091,220	その他収入	4,785,972		県支出金	27,737,000	県支出金	29,418,417		
						その他		その他	1,815,000		
	計	123,800,220	計	131,260,923		計	94,422,800	計	68,577,279		
	支出	人件費	109,394,220	人件費		106,958,079	歳出	修繕料	129,384	修繕料	135,864
		設備管理費	3,700,000	設備管理費		2,039,850		保険料	52,087	保険料	57,541
備品購入費		2,770,000	備品購入費	2,919,268	指定管理料	126,474,951		指定管理料	115,900,000		
修繕費		800,000	修繕費	964,755	業務委託料			業務委託料			
光熱水費		2,636,000	光熱水費	2,399,582	土地・建物賃借料			土地・建物賃借料			
事業費		797,000	事業費	1,172,219	その他			その他			
事務経費		3,633,000	事務経費	5,370,784							
本社経費			本社経費								
人件費等引当金		70,000	人件費等引当金	8,570,000							
計		123,800,220	計	130,394,537	計	126,474,951		計	116,093,405		
損益	0		866,386	差引	△ 32,052,151		△ 47,516,126				
自主事業※	収入	1,520,000	収入	2,968,500							
	支出	1,520,000	支出	2,863,000							
	自主事業損益	0	自主事業損益	105,500							
人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								82.0%			
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

※自主事業は該当箇所のみ記載すること

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 運営及び事務を統括する統括責任者1人、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上配置 各施設に2人以上の常勤放課後児童クラブ支援員を配置し、1人を責任者となる所長とし、1人を所長の代理となる副所長とする。 設備運営基準第10条3項各号に定める資格を有する者を、各支援単位につき1人以上配置する。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	適	3
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	適	3
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	3
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	3
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 施設の設置目的の達成に関する取組

区分	具体的な取組の状況・実績	評価
児童の生活習慣の確立	・大きなクラブでは、班活動の中で何かの目標に向けて取り組む試みをしており、子どもたちがチームの中で、自主性と協調性を磨きながら成長することを念頭に行事計画をしている。	3
地域・家庭との連携	・今年度は「第3回学童フェスティバル」の準備を行ったが、あいにくの雨天で実施できなかった。 ・1日保育時、長時間クラブにいる児童を飽きさせないため、地元のマジックサークルなどのサークル団体に協力していただき、地域の人々と児童クラブの交流も図った。 ・おおい祭りでは、引き続きよさこい踊りに参加した。 ・家庭との連携は、日ごろより迎え時の保護者とのコンタクトを大切に、連絡帳やおたよりなどを用いて子どもたちの様子を知らせている。	

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		子育て支援施設
総合評価	指定管理者の健全性	3	B		
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	4			
	事業収支	3			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			
	施設の設置目的の達成	3			
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期目の指定ということもあり、地域性や児童との関係も理解が深く、安定した運営と評価できる。 ・保育の内容については、総合印象評価で78.9%の満足度評価を得ており、利用者からの支持も得られている。 ・事業収支については、概ね適正であると考えられる。 ・管理運営業務については前年度発生した書類の誤発送等も改善され、適切に行われたと評価できる。 ・事故に対する対応は、事故件数を減らすなど未然に解消する対応や分析が試みられているが、骨折等重大事故が起きた点、改善していただきたい。 また、事故時に現場で判断する傾向があり、状況を事務局や市に迅速に報告する体制の構築を求めたい。 ・今年度は、申請書の紛失が1件あり、個人情報の取扱についてはより厳重に行っていただきたい。 ・その他、管理運営全体については概ねその取り組みが評価できる。 			
取組・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項		
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育時間の延長 ・事故等発生時の連絡強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも課題としてきたが、平成27年度から施行された子ども子育て支援制度で、支援員の資格や配置員数の増員により、人材を集めることが難しくなり、実現には至っていない。 ・事故発生時に質・量の高い情報を迅速に共有するため、第1報様式を設け、市・事務局・現場すべて共有し、利用を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による保育人員の確保に協力し、開室時間延長の実現に向け準備を進めていく。 ・同事業の指定管理者が2団体いることは、お互いの良い点を取り入れ、また、改善点を共有することができるという側面があるため、これまで以上に人材交流や両地区の指定管理者を交えた運営調整会議を開催し、情報の共有・昇華を促したい。 		

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

・今期から実施した月1回の「緊急対応訓練」では火災、地震、不審者に対応した避難訓練以外に、「備蓄品で作る軽食」「災害の写真やビデオを活用した児童による防災についての意見交換会」など、アイデアを生かした訓練も実施しました。利用者アンケートの中にも、「避難訓練があるのもとても良い」というご意見を頂きました。

・月4回、全クラブ職員での会議を設け、保育実践の交流をはじめ、クラブ運営について話し合い、クラブの特徴を生かした活動を大切にしつつ、サービスの均一化と向上に努めています。

・大多数のクラブが大規模クラブになり、昼食づくりや施設外活動を全員で取り組むことが安全上難しくなってきたため、班活動や学年別活動として取り入れる工夫をしました。班で取り組む昼食づくりは異年齢の関わりを生かし、助け合いや思いやりの心を育てています。学年別活動は主に5、6年生を対象に取り組み、行事や所外活動の企画段階から高学年が関わり、協力する方法を学び、達成感を共有することで高学年同士の関係を深める活動にしています。

・学校との連携を密にし、クラブ運営の円滑化に努めています。学校行事、特に卒業式や入学式にもご招待を頂いていることは、児童理解の一助となっています。

・子どもたちの放課後生活を保護者に伝え、子どもたちの成長・発達を共有することを大切にしています。特に毎月発行する「クラブだより」は子ども同士の関わりをはじめ、クラブ生活そのものを伝えることに重点をおいています。

・夏休み等の一日保育を利用して、引き続き「大井奇術団」さんをはじめとする地元の各サークル、団体のご協力を頂きました。今期は新たにNPO法人「ふじみ野明るい社会づくりの会」の人材支援、社会福祉法人「むさし野たんぽぽ会」の手づくり豆腐体験を活用させて頂き、地域の方たちと子どもたちの交流を深めました。

・県内の放課後児童クラブ職員が集う「埼玉県学童保育指導員連絡協議会」に加盟し、放課後児童クラブ専門分野の研修を年間を通して、計画的・継続的に受講し、保育に反映しています。

・今期、学校での友達やご近所との交流を目的に、全クラブで「クラブまつり」を開催することを目標にしました。今まで「まつり」を実施していたクラブも内容を見直しました。大井放課後児童クラブでは、学校の就学児健診に合わせた日に開催し、学校からも歓迎して頂きました。

・利用者の要望に応え、延長料金を30分500円から15分ずつで200円に変更いたしました。利用者から、利用しやすくなったという意見をいただいています。

・自主事業として、保護者の負担を軽減するため、長期休み中の給食サービスを提供し、多くの家庭にご利用いただいています。

② 業務の効率化に対する取組

・東台放課後児童クラブでは長期休み期間の一時保育に希望者多数で入室できなかった東原小学校の児童も受け入れています。小規模クラブの東台放課後児童クラブの児童・保護者からは、2校の児童が共に過ごし交流する機会を歓迎されています。

・省エネ対策の一環として、各クラブで子どもたちが緑のカーテンを作りゴーヤやスイカの収穫もできました。

・年度ごとに業務委託先の見直しを行い、経費の合理化をはかっています。

③ その他

・国の省令基準、及び「運営基準」をもとに、法人の「保育指針」を改訂し、保育の質の向上を目指しています。

・利用者からの苦情や運営上の手違い等は、都度、市に連絡・相談をし、指導とアドバイスを受け、改善にすることができました。

・おおい祭りのよさこいに参加し、保護者とともによさこい踊りを楽しんでいます。

・マイナンバー制度への対応に向けて、研修会にも参加し、準備をすすめました。働きやすい職場環境の充実のためストレスチェックも導入準備を始めています。

(2) 管理業務実施上の課題

・今期の目標の一つであった「ふじみ野市児童発育・発達支援センター」の訪問施設の対象になることはできませんでしたが、特別支援学校で教鞭をとられていた方に一定期間保育に入って頂き、アドバイスを頂くことができました。今後も、障がいのある子どもたちの放課後生活を支援していけるよう、市や関係機関の協力を仰ぎ、連携していきたいと思えます。

・一部施設のトイレが男女共用のため、利用者から児童の心理的負担や社会教育上の観点から男女別トイレへの改修要望が出されています。これまで、間仕切りカーテンの取り付け、ドア仕様や照明器具の変更、清掃業者の導入など環境整備に努めてきました。今後も、児童・保護者に安心して利用して頂くために市と協力して改修に努めていきます。

(3) 次年度以降の取組

・全体の事故件数は指定一期目の半数(14件)に減少させることができましたが、今期、骨折2件という大きな事故がありました。子どもたちが課業から解放され、自らの意志で活動し、身体的発達や社会性を身に着ける大事な時間が放課後児童クラブの保育時間であることを踏まえつつ、大きな事故に至る前の「ヒヤリ・ハット」を見逃さず、安全対策の徹底と児童自らも危険を回避できる能力を身に着けられるよう、引き続き取り組んでいきます。

・利用しやすい環境構築の向け、職員の長期継続勤務によるキャリア形成を目的に、「短時間正職員就業規則」の導入を具体化します。